

「第 6 回村岡公民館再整備建設検討委員会」 の開催結果について(お知らせ)

第 6 回村岡公民館再整備建設検討委員会を開催いたしましたので、結果について皆様にお知らせいたします。

【開催概要】

日 時 2018年12月7日(金)

議 題 (1) 村岡公民館等再整備基本構想(案)について

【議事の内容】

1 村岡公民館等再整備基本構想(案)について

◇基本理念、基本方針および整備方針等(案)について、これまでに出された意見をもとに新案を作り、これまでの案(旧案)とともに、協議・検討を行いました。

＜基本理念・基本方針・整備方針等(案)＞

		旧案	新案
基本理念		みんなが気軽に訪れ絆を育む、安全安心で明るい施設	みんなで <u>支え合い</u> 絆を育む、安全安心で明るい施設
基本方針	つらつら	賑やかで明るい雰囲気のある、居心地の良い公民館を目指すとともに、自ら積極的に活動できる住民の活動拠点を作ります。	賑やかで明るく、居心地の良い空間としての公民館、自ら積極的に活動できる住民の活動拠点となる公民館とします。
	まなぶ	子どもから大人まで、世代に合わせた学習機会を提供し、またそれぞれの利用形態に合った活動スペースを提供します。	子どもから大人まで、世代に合わせた学習機会、 <u>地域に開かれた学びの機会</u> を提供し、またそれぞれの利用形態に合った活動スペースを提供できる公民館とします。
	むすぶ	気軽に利用でき、交流できる公民館を目指すとともに、団体間のネットワークを作るよう、情報を集約・発信できるスペースを整備し、人と人がつながる公民館とします。	気軽に利用でき、交流できる公民館を目指すとともに、 <u>地域住民、団体間のネットワーク化</u> につながる、 <u>地域活動のためのスペースや地域情報の発信源</u> となるスペースを整備し、人と人がつながる公民館とします。
	安全・安心	すべての人が利用しやすく、困ったときに頼ることができ、災害時においても拠点としての機能を維持できる計画とすることで、常に人々の安全・安心につながる居場所となる公民館とします。	すべての人に <u>やさしく利用しやすい</u> 、困ったときに頼れる公民館とします。 <u>また災害時には防災拠点及び避難所となること</u> で、常に人々の安全・安心につながる居場所となる公民館とします。
	育む	地域の見守りの中で、子どもたちが安心して利用できる居場所となり、また世代間の交流から次世代の地域の担い手が生まれ、郷土愛が育まれる場所となる公民館とします。	子どもたちが <u>のびのびと遊べ</u> 、大人が見守ることができる場を提供します。また <u>世代を超えた交流の機会</u> をもうけ、 <u>地域の担い手の育成の場</u> となる公民館とします。

※下線は旧案に対し、変更した部分を示します。
※裏面に整備方針を記載しています。

基本方針に基づく整備方針

整備方針	機能	諸室
<p>つどろ 明るく開放的な施設とし、人々が気軽に集まることができる空間を計画します。</p> <p>⇒ 少人数での打合せや、個人での読書や学習を予約しなくとも利用できる場を計画するとともに、活動に合わせた柔軟な施設運営ができる計画とします。</p>	<p>開口部に面した明るい場であり、気軽に談話ができる場。</p> <p>⇒ 共用部を有効に活用した打合せ・学習スペース。細分化して利用できる部屋。</p>	<p>共用部（ロビー/オープンテラス）/広場・緑地</p> <p>⇒ 共用部（ロビー/オープンテラス）/談話室</p>
<p>まなぶ 体を動かす動的な活動や机に向かうような静的な活動の、それぞれが利用しやすいように、平面的・断面的に空間や部屋を分けた計画とします。</p> <p>⇒ 活動内容や利用人数に応じた部屋を計画し、様々な活動に対応できる質の異なる空間を設けます。</p>	<p>音や振動の発生する部屋は防音や防振に配慮した設え。落ち着いて学習できる場。</p> <p>⇒ 演劇やコンサートに利用できる場や各種スポーツやダンスなどの運動のできる場、集会や会議のできる場。下足または室内履きの活動に応じた設え。</p>	<p>音楽室/体育室/ホール/子ども室/図書室/学習室</p> <p>⇒ ホール/音楽室/体育室/談話室/子ども室/和室/調理室/実習室</p>
<p>むすぶ 互いの活動の見える化を図り、新たにつながる機会を生み、世代間の交流が図れるような空間とします。</p> <p>⇒ 掲示板などの情報発信のための設備により利用者に対して情報提供を行うとともに、人々の目に触れやすい場所に整備します。</p>	<p>内部の活動が見える場。観戦できる場。</p> <p>⇒ 各団体の活動内容を掲示できる場。各団体の活動を支える場。</p>	<p>談話室/学習室/ホール/体育室</p> <p>⇒ ロビー/団体活動室・準備室/学習室/体育室/ホール</p>
<p>安全・安心 セキュリティ性に配慮した平面計画、ユニバーサルデザインを取り入れた施設計画、地域包括支援センター等機能の集約によりすべての人々が利用しやすい施設とします。</p> <p>⇒ 地震に対する十分な耐震性を確保するとともに、河川の氾濫等に対する耐浸水性及び避難所としての機能を確保した施設とします。</p>	<p>声のかけやすさ・訪れやすさやセキュリティに配慮した管理諸室の配置。ユニバーサルデザインを取り入れた建具、設備。</p> <p>⇒ 災害時に避難所として活用できる場。災害時に機能する諸室の連携に配慮した配置。</p>	<p>管理諸室（事務室/地域包括支援センター/地区ボランティアセンター）/トイレ</p> <p>⇒ 防災拠点会議室機能/体育室/ホール/防災備蓄倉庫</p>
<p>育む 子どもや子育て世代が集まることができる場やそのようなイベントを提供できる場を計画します。</p> <p>⇒ 村岡の歴史や文化を継承し、地域の担い手を創造する場を提供するとともに、イベントや文化活動を実施でき、多様な世代が交流できる空間を整備します。</p>	<p>子どもたちが気兼ねなく遊べる場所と大人が見守れる場が共存するスペース。子連れの親が公民館を利用しやすくするための設備。</p> <p>⇒ 村岡の歴史や文化を展示できる場。文献などを閲覧できる場。</p>	<p>ロビー/子ども室/オープンテラス/広場・緑地/授乳室/おむつ替えコーナー</p> <p>⇒ ロビー/図書室</p>

《「基本理念、基本方針および整備方針等（案）」に対する主なご意見》

- 「支え合う」というキーワードは、以前から取り入れたいと思っていた。藤沢市が地域包括ケアシステムとして支え合いの地域づくりを進めている中で、今回再整備する公民館をはっきりと拠点であると示すべきである。
- 新(案)の基本理念に「支え合い」とあるが、基本方針の項目として「支え合う」を追加してもよいと思う。
- 「育む」のような次世代につながる子どもに関する基本方針は残してほしい。
- 「育む」は子どもに限らず、大人にも当てはまる大きな枠で考えてもよい。
- 「つどう」で示されている「空間」については、公民館が1つの建物として有する空間を想像し、そこに地域住民が集うイメージを想像したため「居心地の良い空間」という文言を加えたい。
- 基本方針だけに注目して協議しても、整備方針以降と重複する部分が出てくるため議論がしづらいので、ハードとのつながりも考えたうえで議論すべきである。
- 公民館の再整備が行われる大きな背景として、現施設は老朽化により避難施設として成立していないと思われるため、防災面での「安全・安心」は基本方針に残すべきである。その上で、地域包括を推進するのであれば、「安全・安心」の中に「支え合う」の意味も含めるのは適当でないと感じた。
- 「安全・安心」の中に「すべての人」とあるが、ユニバーサルデザインに対応することから具体的に「年齢や障がいの有無に関係なく」とした方が障がい者の方も来訪しやすくなると思う。
- 「すべての人」には外国人の方の利用も考えられ、複数の意味合いが混在していると思われるので、どちらの意味でも取れるようにしてほしいと思う。
- 「支え合う」は5つの基本方針すべてに係るので、基本理念に加えてよいと思う。

今回、「基本理念、基本方針および整備方針等（案）」に対するご意見につきましては、内容を精査いたしまして、できる限り反映してまいります。次回の建設検討委員会にお示しし、さらに議論を深めてまいります。

【問い合わせ先】 藤沢市役所 村岡公民館 電話 23-0634

※村岡公民館建設検討委員会は、公開で開催しています。

※傍聴をご希望の方は、事前申込みとなっております。